

加納化成 株式会社 (産業分類：工業用プラスチック製品製造)

設立：昭和38年

所在地：三原市長谷4-18-1



KANO KASEI
メッセージ

テクニカルな実力派。
Challenge



際立つ技術力と人材の コンビネーションが、 明日のプラスαに結び付く。

清潔と安全をベースにした快適な労働環境の中で、私たちの業務は日々進められています。創業以来の変わらない技術力で得た結果と、エネルギー的な労働力で、常に高品質向上を目指します。

プラスチック加工の専門メーカーとして、産業機械を始め、半導体製造設備、化学実験装置、防炎設備に至るまで豊富な技術と開発力で、幅広い製造作りを承めています。

コンピュータによるデータの作成、精度の高い切削設備の導入は、業務に繋がることができる開発力、より一層確かなものづくり、NC機械設備、プラスチック、最先端の技術に熟練者の手が関わった見違えないプロセスの確立が、明日への可能性につながります。



KANO KASEI
設備紹介

工業用プラスチックの加工販売事業を行っている。大手企業がメイン取引先であり、安定した売り上げを計上している。近年半導体関連の取引先が増え、現在将来ともに見通しは明るい。

製造販売している各種プラスチック部品や製品

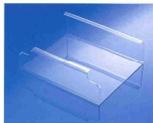
PLASTICS PRODUCTS

■工業用プラスチック製品

多品種・少ロット・短納期、要求には技術で応える。

今日の産業社会に不可欠なもの、それはエンジニアリングプラスチック。

私たちは素材の特性を活かし、独自の加工技術により、高品質な製品を生み出しています。マイクロオーダーの印刷技術、高度な強度を強く含む材料、独自の強度を誇る接着、溶接技術と多彩な「色」は、多様化するニーズにきめ細かく対応します。ユーザーの難題の声をひとつひとつカタチに。小さな品物1つから、複雑な品物、短納期の要求にも、丁寧な仕上がりで製品をお届けすることに変わりはありません。



製薬用収納カバ「三重工業株式会社製」



ダイソンタワーファブ「株式会社 デイソン製」

営業品目

- プラスチック素材販売
- プラスチック加工全般
(切削・曲げ・接着・溶接・重合)
- 化学プラント及び半導体製造装置
- プラスチック成形品
- ライニング及びコーティング
- 金属加工品
- パッキン
- ホース・ダクト・継手
- ベルト
- 各種機器 他

KANO KASEI

製品紹介1

FIRE EXTINGUISHER BOX

■消防火箱がボックス
■消防ホースボックス

独自のアイデアが、そのままカタチになった。

独創的な発想をそのまま具現化したのが、自社開発ブランド品です。私たちの開発した製品は、人びとの生活の場に幅広く使われ、そのセーフガードにおける一翼を担っています。高層で働き上げた信頼関係を土台に、企業・設計力を十二分に活かして、私たちは更に健康の促進を目標したいと願っています。フレキシブルな感覚で、常に実用性を前提にした必要不可欠なモノづくり、積極的な製品開発を進めています。



KANO KASEI

製品紹介2



- 自社開発ブランド品
(実用新案登録、商標登録取得)
- 溶接機専用ケース
 - F R P製消火器格納箱
 - F R P製消火ホース格納箱
 - 樹脂製消火器設置台
 - F R P製救命胴衣格納箱
 - 太陽電池式屋外消火設備表示灯
 - ワーカーセッソー
 - ワイパー
 - フローター
 - トワイラー

KANO KASEI

未来へ



三原市、筆影山から望む瀬戸の多島景

実績を礎に、 プログレッシブに未来図を描く。

当たり前のことを当たり前になさずと結果は得られる。創業以来、私たちは「凡事徹底」を念頭にユーザーの皆様との信頼関係を築き上げ、今日まで着実に成長してきました。今、私たちは蓄積した技術力に更に磨きをかけ、多様化、複雑化するニーズへの対応はもちろん、ビジュアル要素も考慮した高水準の製作を心がけています。また、次代を担う若い人材の育成にも力を注ぎ、そのための福利厚生面も充実した内容を目指しています。生産技術の研鑽、オリジナルブランドの企画開発、私たちの探究は限りなく広がります。21世紀を視野に、常に進取的(プログレッシブ)な姿勢で、新しいフィールドに挑戦し続ける企業でありたいと思えます。

在是
凡事徹底



KANO KASEI

会社概要

会社概要

名称	加納化成株式会社
本社所在地	〒723-0132 広島県三原市長谷4-18-1 TEL.(0848)60-2111(代表) FAX.(0848)60-2112 URL http://www.kano-kasei.co.jp E-mail s-kano@kasei.co.jp
創設年月日	昭和38年6月20日
設立年月日	昭和42年7月1日
資本金	10,000,000円
決算期	6月(年1回)
取引銀行	もみじ銀行三原支店・広島銀行三原支店 中国銀行三原支店・三菱東京UFJ銀行福山支店
役員	代表取締役社長 加納 毅 常務取締役 加納 浩二 取締役 亀田 勉 取締役 児玉 邦三
系列会社	株式会社カノワカコウ

会社沿革

昭和38年6月	三原市糸崎町において加納忠雄個人経営にて産業用プラスチック製品の販売を開始
昭和42年7月	株式会社を改組。
昭和45年8月	本社及び工場を三原市古浜町に新築移転
昭和47年4月	溶接棒携帯用ケース「ワーカー」を開発発売
昭和53年6月	消火ホース格納箱「クイッカー」を開発発売
昭和56年12月	救命胴衣格納箱「フローター」を開発発売
昭和58年10月	消火器格納箱「セフター」を開発発売
昭和63年12月	系列会社「株式会社カノワカコウ」設立
平成3年11月	広島県大和町に工場用地取得(25,000㎡)
平成4年5月	太陽電池式屋外消火設備表示灯システム「トワイラーE-1型」を開発発売
平成5年7月	消火器格納箱「50型」を開発発売
平成5年10月	消火器格納箱「タウン型NT」を開発発売
平成8年9月	消火器設置台を開発発売
平成9年6月	本社及び工場を現在地、三原市長谷町に新築移転
平成11年9月	消火器格納箱「タウン型PC」を開発発売
平成15年1月	太陽電池式屋外消火設備表示灯システム「トワイラーC-1型」を開発発売
平成16年5月	消火ホース格納箱「クイッカーU-1型」を開発発売

営業品目

- プラスチック素材販売
 - 各種プラスチック板、丸棒、パイプ、アングル、チューブ、シート、フィルム、他素材
- プラスチック加工
 - 切断、切削、孔明、溶剤接着、重合接着、溶接、高周波溶接、曲げ、歯切、角嵌め、打抜き、彫刻
- 製造関連品
 - 化学実験装置、半導体製造装置、各種工業用品、各種モデル、タンク、水槽、容器、配管、プラスチック成型品、ライニング及びコーティング、金庫加工品
- その他販売品
 - バックキン、ホース、ダクト、継手、ベルト、各種機器
- 自社ブランド商品(実用新案登録、商標登録取得)

溶接棒携帯用ケース	ワーカー
FRP・PC製消火器格納箱	セフター
FRP製消火ホース格納箱	クイッカー
樹脂製消火器設置台	セフター
FRP製救命胴衣格納箱	フローター
太陽電池式屋外消火設備表示灯	トワイラー
各種防災設備用品	

■会社所在地

